CARIMALI
MACCHINE PER CAFFÈ DAL 1919

HARMONY　V2　S
HARMONY LIGHT　V2　S
取扱い説明書

※ 写真はHARMONY　V2　Sとなります。

お客様へ

このたびは、全自動エスプレッソコーヒーマシン「HARMONY又はHARMONY LIGHTをご購入頂き誠に誠に有難うございます。
この取り扱い説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に『安全上のご注意』を必ずお読み下さい。
この取り扱い説明書を必要な時にいつでも見ることができる分かり易い場所に大切に保管してください。
この取扱い説明書の不明な点や、使用中に発生した問題点に関する記載が取扱説明書にない場合には販売代理店に連絡をして下さい。

安全上のご注意　（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明

この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

一般的な注意事項

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
  修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。　水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい（電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。）
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。　火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。　そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすが無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。
  電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行なってください。　感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意をして下さい。　また、電源コードに人や物が絡まったり，つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。　感電や火災や怪我の原因になります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。　また電源プラグをコンセントから抜いてください。
  専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。　火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないで下さい。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。
- マシンの電源スイッチをＯＦＦにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用はしないで下さい。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をして下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所
又は訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。

⚠ 警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。

⚠ 注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。
  不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。
  水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
- 設置周辺温度が45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから１０ｃｍ以上離して設置してください。
  熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。

- 水道に直結する場合には0.5 メガパスカル (Mpa).以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。

使用環境条件
気温:　5 - 45 ° C（凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。）
湿度:　80% 以下
水硬度:　50以下（ppm）

- （注）お湯では無く必ず水を給水してください。
- （注）水以外の飲料（例えばミルクなど）やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。

操作を行なう時の注意事項

⚠ 注意

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をして下さい。火傷や怪我の原因になります。
  また、使い終わった時には誤操作により噴出した熱湯やスチームを浴びないようにノズルの位置を排水トレー方向に向けてください。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンの作動中、コーヒー豆用ホッパーの中に手を入れないで下さい。　怪我の原因になります。
- 抽出ライン（コーヒー/ミルク/ミキサー）の洗浄は規定どおりに実施してください。
  洗浄を行なわず放置しておくとミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

- コーヒー豆用ホッパー及びパウダーは定期的に(２週間)内部をよく清掃してください。放置しておくと雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆及びパウダーが入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。
  無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なって下さい。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なって下さい。

- 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままでマシンを放置しないで下さい。
- 硬度の高い水を使用する場合には軟水器をしようしてカルシウム成分の固着を防いでください。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃、特に抽出ライン及びミルカーを推奨する洗浄剤で実施しないで故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

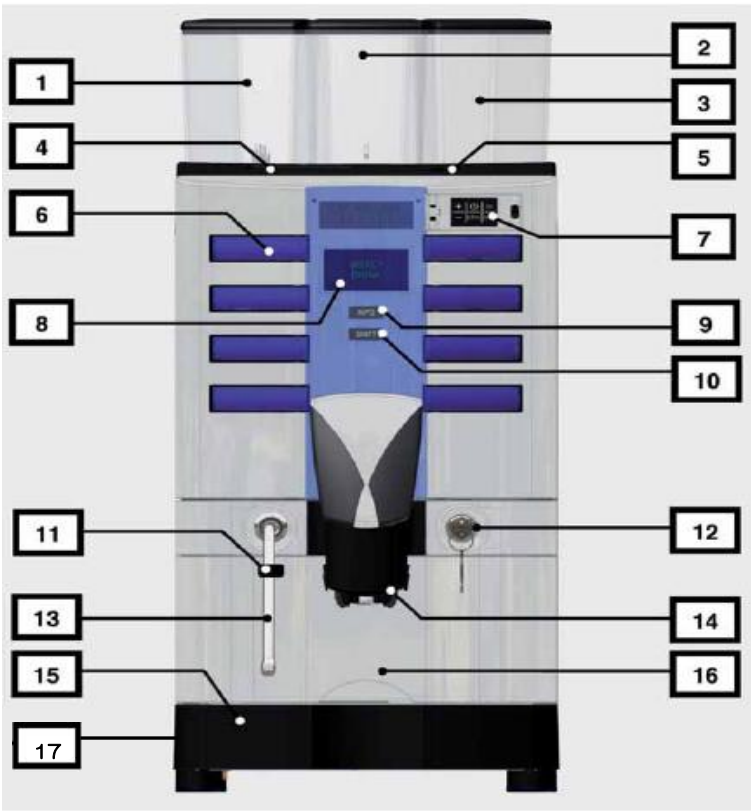
マシン仕様と各部の名称

仕様:

	HARMONY	HARMONY LIGHT
幅(mm)	325	
高さ(mm)	745	
奥行き(mm)	560	
満水重量(Kg)	52	
コーヒー抽出グループ数	1	1
グラインダー数	2	2
コーヒー豆 ホッパー数	2	2
パウダーキャニスター数	1	−
給湯抽出口	1	1
1日 最大抽出杯数(推奨)	約120杯	約120杯
コーヒ豆 ホッパー容量(g)	700g×2	700g×2
キャニスター パウダー容量(g) ※粒度によって容量に誤差があります	1250g	−
ボイラー容量 (コーヒー用/スチーム用)	コーヒー用/スチーム用 各1L	
電気容量/電流(KW/A)	2.4KW / 12A	
電源	単相200V 50/60Hz共用	
電源コード	約2m	
ポンプ	内蔵式 加圧ポンプ	
給水接続方法	15A バルブ止め	
排水接続方法 (排水直結の場合)	20Aワイヤ入り排水ホース	

※仕様は品質向上のため予告なしに変更する場合がございます。

各部の名称:



1	パウダー用キャニスター(容器)
2	コーヒー豆用ホッパー (容器)
3	コーヒー豆用ホッパー (容器)
4	特に使用なし
5	洗浄剤投入口
6	メニューボタン
7	サービス キーパッド
8	ディスプレー
9	INFOボタン(インフォメーション)
10	SHIFT/クリーニングボタン
11	スチームノズルラバー(取手)
12	前面ドアキー
13	スチームノズル
14	高さ調整式抽出口
15	排水トレー
16	コーヒーカス受け箱
17	主電源スイッチ

オープニング（マシン立ち上げ）作業

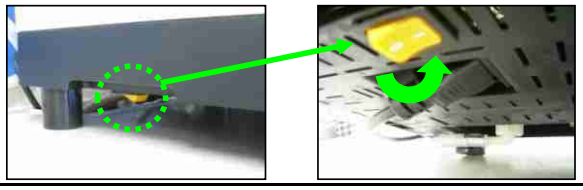
（1） 事前確認事項　電源を入れる前に

①コーヒ豆やパウダーは容器に十分に入っていますか？
　入っていない場合：　各容器の蓋を開け、コーヒー豆、パウダーを補充します。

②排水トレー及びカス箱は空になっていますか？

（2） マシン電源を入れる。

1. マシン左下の主電源スイッチを入れます。
　スイッチを手前に入れるとONとなります。



2. マシンに電源が入り、ディスプレーが下記のように表示します。

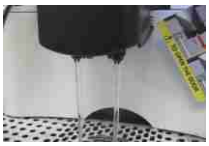
3. マシン正面右上のサービスパネルを軽く押し、パネルを開けます。

4. 内部のサービスキーパッドにある電源ボタンを押します。

（3） ウォームアップと自動リンス（すすぎ）

電源をONにしますと、マシンはボイラーへ自動的に給水を行い、沸き上げを開始します。
コーヒーボイラーの温度が50℃に到達しますと、マシンは自動的にすすぎを開始され抽出口より湯が出てきます。
ディスプレーは下記表記となります。

注意！
自動的にすすぎが開始された時、抽出ノズルから少量の湯が排出されますので、抽出口付近には手を近づけないで下さい。



すすぎが終わりますとマシンは再び、沸き上げを開始します。
沸き上げが終わり、ディスプレーは下記表示①となり、コーヒー系統のみ抽出が可能になります。
この時抽出できるボタンのランプのみ点灯してお知らせします。

①

②

チェックポイント！
左記①ディスプレー表示の時は、まだ沸き上げ準備中です。
スチームを使用するメニューは（ミルク関連メニュー）、
しばらくお待ちください。

左記②STEAM NOT READYの表示が消え、各メニューボタンが点灯するとスチームメニューも準備OKとなります。
マシンの全ての機能が正常に立ち上がった状態です。

クローズ作業

（1） マシン電源をOFFにする

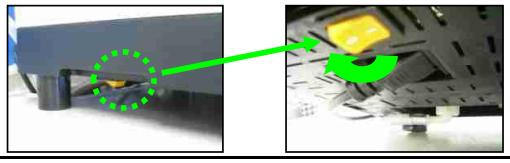
・ 各クリーニング工程（9ページ参照）を終えてからマシン本体の電源をOFFにします。

1. マシン正面右上のサービスパネルを軽く押し、パネルを開けます。

2. 内部のサービスキーパッドにある電源ボタンを押します。

3. マシンに電源が入り、ディスプレーが下記のように表示します。

4. マシン左下の主電源スイッチをOFFにします。
スイッチを奥へたおすとOFFとなり、ディスプレー表示、ライトが消えます。



（2） ミルク保冷庫の電源ON/OFF 及び 清掃。　※保冷庫をご使用の場合

他の保冷庫をご使用の場合は保冷庫付属の取り扱い説明書をご確認下さい。

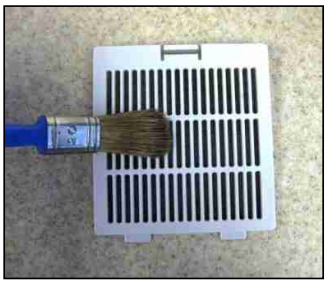
・ **保冷庫本体のスイッチを切り換えて使用します。**

電源スイッチは、本体ドアパネルを開けた操作スイッチを切り換えます。
・ 使用時　　**切→15℃**に切り換えます。
・ クローズ時　**15℃→切**に切り換えます。

注） スイッチを15℃及び55℃にしないで下

牛乳が温まり、衛生的に雑菌の
繁殖やミルクの吸い上げに影響します。

・ **清掃**
保冷機能を維持するため、1ヶ月に1度、本体背面のフィルターを取り外し、清掃してください。



フィルターに付着する
ほこりを清掃してください。

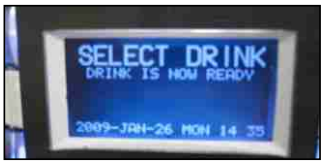
各ボタンの抽出方法

コーヒー/カプチーノ/カフェラテ/ココア/お湯等の抽出

・ マシンディスプレーが『 SELECT DRINK 』の状態であり、メニューボタンのランプが点灯している事を確認します。

・ トレーにカップを置き、抽出したいメニューボタンを押します。
抽出ノズルよりメニュードリンクの抽出が開始します。

・ 抽出が終わると、ディスプレーは右表示となり、抽出が完了した事をお知らせします。



チェックポイント！

ホットウォーターを連続して抽出した場合には下記の表記となり、マシンはリカバリー中（ヒーティング）となります。
この表示中は、コーヒーやお湯に関連する抽出ボタンのランプが消灯し、抽出ボタン押しても抽出できません。
しばらく待ちますと、リカバリー（ヒーティング）が終了し抽出可能となります。抽出ボタンのランプも再び点灯します。

スチームの使用とクリーニング

・ マシンのディスプレーが『 SELECT DRINK 』の状態であり、メニューボタンのランプが点灯している事を確認します。

・ 温める容器にスチームノズル先端を差込み、スチームボタンを押します。

注意！
スチームノズルを使用する時は、
火傷防止のため、必ずゴムのラバー部分を
持つようにしてください。

・ 使用後は、濡れた布巾等で拭き取ります。

チェックポイント！
使用後は液体が残っている容器にスチームノズルを
差込み浸し続ける事を避けてください。パイプ内にドリンクが
詰まり、異臭発生や故障の原因になります。

コーヒー豆（パウダー）の補充方法及び自動すすぎ機能について

コーヒー豆及びパウダーの補充

常に新鮮なメニューでご提供していただくために、おおよそ1日の消費量を補充してください。

コーヒー豆の補充方法

右端または真ん中の容器の蓋を開け、
コーヒー豆を補充して下さい

パウダーの補充方法

左端の容器の蓋を開け、
パウダーを補充して下さい

自動すすぎ（洗浄）機能

・ 自動すすぎは、抽出後規定時間に到達した際に各部（抽出シリンダー、抽出ライン、ミルクライン、ミキサーライン）の簡易洗浄を自動的に行なう機能です。

※ 各々の機能は、OFFにする事も可能です。

マシンは、最後に抽出したメニューからそれぞれ3～5分後に**アラーム音を発し、自動的に洗浄を開始**します。
自動洗浄が開始する時、アラーム音と共にディスプレーは次のように表示します。

自動洗浄が開始する時、
マシンからピーッ！ピーッ！と音を発し、
ディスプレー色が交互に変わります。

注意！
この時、すすぎ終わった湯が抽出口から少量排出されます。火傷には十分にご注意下さい。

毎日のお手入れ　　パワークリーン　ミルクラインの自動洗浄の手順　　所要時間　約1分

■ パワークリーンは、ミルクラインンに付着するミルクの脂肪分を効果的に取り除く事が出来ます。

毎日のお手入れ 『抽出ラインの自動洗浄』前と時間の空いたアイドルタイム等に行う事で、常にマシン状態を良好に保ち、安定したメニューを抽出するために必要です。

⚠ **注意！**

パワークリーンは、ボイラーのお湯をミルクラインチューブ及び抽出ノズルへ排出します。
必ずミルク洗浄用容器を使用し、下記手順に沿って行って下さい。

抽出口付近には手を近づけないで下さい。 火傷の原因となります。

1 ミルクチューブをミルクの容器から取り外し、
ミルク洗浄用容器にチューブを差し込みます

2 『SHIFT』ボタンを5秒間長押しします。

ディスプレーは次のように表示します。

3 点滅しているボタン 7を2回押します。
パワークリーナーを開始します。

ミルクチューブと抽出口からお湯が排出します。

4 洗浄中、ディスプレーは下記のように表示し、このエ程のクリーニング終了時間を表示します。

『パワークリーナー』が終了しますと、ディスプレーは
『 SELECT DRINK 』の画面となります。
容器に排出した湯が溜まりますので、捨てて下さい。

毎日のお手入れ　　抽出ライン（コーヒー/ミキサー/ミルク）の自動洗浄の手順

■ コーヒーを抽出した後は、ブルーイングユニットの内部が汚れてきます。
特にミルクベースのコーヒーを抽出した時には、ミルカー（吸引口、ミルク抽出口）が汚れてきます。

■ 毎日のお手入れは、マシンのトラブル発生（抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等）を減少させ、常にマシン状態を良好に

（HARMONY LIGHTの場合は、ミキサー洗浄工程がありません。）

1 『SHIFT』ボタンを5秒間長押しします。

ディスプレーは次のように表示します。

2 P13でパワークリーナーを行っているので、ボタン4を押し、項目をスキップさせます。
ボタン 7を押すと抽出ユニットが動き、クリーニングが開始します。

ディスプレーは次のように表示します。

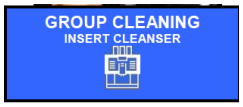
3 前面パネルを開けます。
※下記前面パネルの開け方参照

4 付属の清掃用ブラシ等でピストンやシリンダー周りに残っているコーヒー粉を掃除します。

5 ピストン底に装着しているフィルターもきれいな布で拭きます。

6 ピストン関連の掃除が終わりましたら、前面パネルを閉めます。

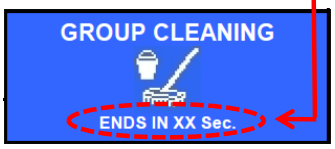
7 ディスプレーは次のように表示しております。



再び、前面パネルを開け、抽出シリンダー部に洗浄剤を1錠入れて前面パネルを閉じます。

8 自動的に洗浄がスタートし、抽出口より洗浄液が出てきます。

この時ディスプレーは下記のように表示され、このエ程のクリーニング終了時刻を表示します。

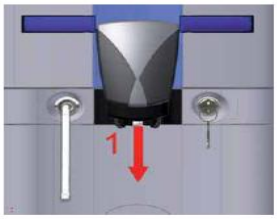


9 コーヒーラインの洗浄が終わるとディスプレーは次のように表示され工程を終えたことを意味します。

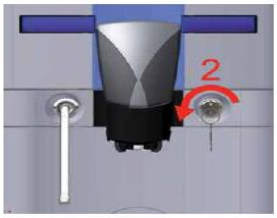
ボタン 7が点滅しているので、ボタンを押し、次の工程に進みます。

※　シリンダーに洗浄剤を投入する際、約40秒経過すると電源がOFFとなりますので、時間内に洗浄剤を入れてください。

※前面パネルの開け方



1）抽出口を1番下まで下げます。



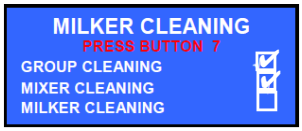
2）前面ドアキーを左回りにする事で、ロックを解除します。

抽出ライン(コーヒー/ミキサー/ミルク)の自動洗浄の手順

10 自動的に洗浄がスタートし、
抽出口より洗浄液が出てきます。

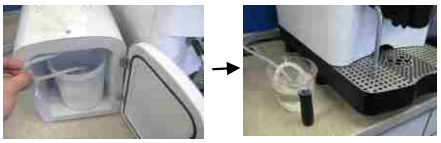
この時ディスプレーは下記のように表示され、
このエ程のクリーニング終了時刻を表示します。

11 ミキサーラインの洗浄が終わると
ディスプレーは次のように表示され
工程を終えたことを意味します。



ボタン 7が点滅しているので、ボタンを押し、次の
工程に進みま

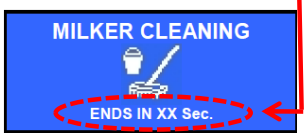
12 ディスプレーは次のように表示されます。ミルクチューブをミルクの容器から取り外し、ミルク洗浄溶液
(洗浄剤30cc + 水300cc)に差換えま



13 ボタン 7が点滅しているので、ボタンを押しますとミルクラインの洗浄がスタートします。

洗浄がスタートし、
抽出口より洗浄液が出てきます。

14 ディスプレーは下記のように
表示され、この工程のクリーニング
終了時刻を表示します。



15 第1のミルクラインの洗浄が終了すると、
ディスプレーは次のようになります。

容器に冷水のみを入れた後にミルク
チューブをもう一度容器に入れます。

注) 洗浄剤が容器に残った場合は、
1度洗浄剤を捨ててからすすいだ後、
水を補充してください。

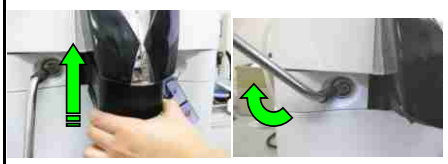
16 ボタン 7が点滅しているので、ボタンを押しますとミルクラインの洗浄がスタートします。

再度ミルクラインの洗浄がスタートし、抽出口より
洗浄液が出てきます。

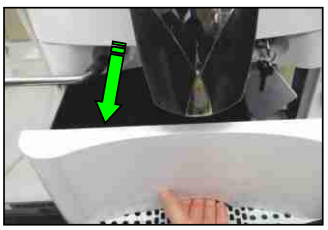
17 ミルクラインのすすぎが終了すると
ディスプレーは下記のようになります。

アラーム:カス受け箱が満杯です。
カス受け箱を掃除のため、取り外します。

18 カス受け箱を取り外すため、抽出ノズルとスチームノズルを上方向に上げます。

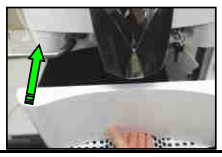


19 カス受け箱を取り外します。



20 排水トレー外します。

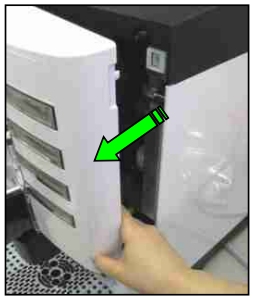
21 取り外したカス受け箱と排水 トレーを清掃後、元の位置に差し戻します。



ミキサーの分解洗浄手順　（HARMONY LIGHTの場合は、この洗浄は必要ありません。）

- パウダーの詰まりや味のクオリティーを持続させるため、1日に1度、ミキサーを取り外して洗浄してください。

1 前面パネルを開けます。



2 ミキサー出口に繋がるシリコンチューブを外します。

3 ミキサー出口を外すため、固定部を反時計回りに回します。

4 ミキサー出口を外します。

5 パウダー出口も洗浄のため外します。
出口は左右どちらかに捻りながら引き抜きま

5 外したミキサー出口及びパウダー出口部分を洗浄します。

6 洗浄したミキサー出口を下写真のように組み立て、向きを合わせます。

7 ミキサー出口を取り付けます。

ミキサー出口を固定する時は、まず上から順に合わせて、しっかり

しっかり差し込まれた事を確認し、ミキサー出口を固定するため、固定部を時計回りに回します。

8 パウダー出口及びミキサー出口にシリコンチューブを繋げます。

パウダー出口をキャニスター出口へ差し込みます。

ミルクの泡立ちが悪い時　　ミルカー（ミルク泡立て）及びミキサーの分解洗浄

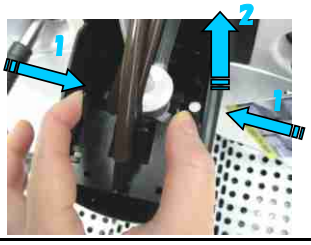
ミルカーの分解洗浄手順

・ パワークリーナーとミルカー自動洗浄を行う事で、ミルクの付着を抑制しますが、使用中ミルクの出方や泡立ちが悪い時は下記手順に沿ってミルカーの分解洗浄を行って下さい。

1 洗浄溶液を作ります。
500ccぐらいの水にミルクチューブクリーナー30ccを混ぜ洗浄溶液を作ります。

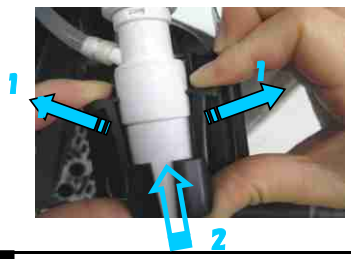
2 前面パネルを開けます。

3
1. 抽出口上部のつまみを矢印の方向へつまみます。
2. 抽出口を上方向へ引き上げます。



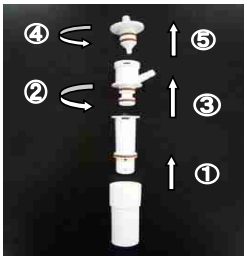
4 抽出口ホルダーから抽出口を取り外します。

5 ミルカーホルダーからミルカーを取り外します。
1. 矢印の方に拡げます。
2. 下からミルカーを押し上げると外れます。



6 ミルカーに繋がるシリコンチューブを外します。

7 ミルカーを個々に分解します。
②・④は反時計回りにして引き抜く。
この時各Oリングに磨耗が無いか確認してください。



8 分解したミルカーを予め準備した洗浄溶液に約1時間浸します。
（汚れが落ちづらい場合は、浸す時間を延ばしてください。）

9 ミルカーを組み立てます。

注）
分解して浸したミルカーは、清水で十分にすすぎ、乾かした後組み立てて下さい。

10 ミルカーにシリコンチューブを繋ぎます。

注）ミルカーにシリコンチューブを繋ぐ際は、差し間違えのないように注意して下さい。

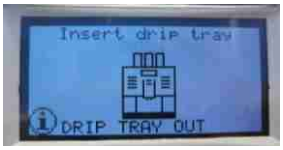
11 ミルカーホルダーにミルカーを差し込みます。

12 抽出口ホルダーに抽出口をセットします。

マシン機能上のメッセージ(アラーム) 一覧 (故障ではありません。)

マシンのアラームは、ディスプレーに表示されます。
同時にINFOボタンが点滅してお知らせすると共に INFOボタンを押すと、マシンのどの場所でアラームが出て いるかをマシン図で点滅してお知らせします。

INFOボタンを押す。

各アラーム ディスプレー表記	マシン図 (INFOボタンを押した時)	対処
OPEN DOOR 		原因: 前面パネルが正しく閉じられていません。 処置: ・前面パネルを閉め直し、前面パネルに鍵をかけて下さい。
GROUND BIN FULL 		原因: コーヒーカス受け箱が満杯です。 杯数が設定した規定量に達しました。 処置: ・カス受け箱を取り外し、コーヒーカスを捨てて下さい。 約10秒後、ディスプレー表示がGROUNDS BIN OPENに なりましたらカス受け箱を挿入してください。
GROUNDS BIN OPEN 		原因: コーヒーカス受け箱が正しく挿入されていません。 処置:
MISSING COFFEE 		原因: コーヒー豆容器にコーヒー豆がありません。 コーヒー豆容器が正しくセットされていません。 (ストッパーが解除されていません。) 処置: ・コーヒー豆容器にコーヒー豆を補充してください。 ・コーヒー豆容器を正しくセットして下さい。
DRIP TRAY FULL 		原因: 排水トレーが満杯です。 排水口へ直結の場合は、排水が詰まっている 可能性があります。 処置: ・排水トレーを空にして再度挿入して下さい。 ・直結の場合、詰まりを可能な限り除去してください。
DRIP TRAY OUT 		原因: 排水トレーが正しく挿入されていません。 処置: ・排水トレーを正しい位置で挿入しなおしてください。
90 Change H2O Filter 	表示はありません。	原因: 浄(軟)水カートリッジの交換時期を表しています。 マシンに予め設定した交換時期、水量、に 到達した事を表しています。 処置: ・弊社サービスマンを呼んで浄(軟)水器のカートリッジを 交換してください
92 MAINTENANCE 	表示はありません。	原因: マシン本体の点検時期に到達した事を表しています。 設定した点検時期、稼動数に到達した事を表しています。 処置: ・弊社サービスマンを呼んで下さい。 サービスマンがマシンの点検を行ない、磨耗などがおきて交換が必要となった部品を取り替えて、アラームをリセットします。

故障かなと思ったら･･･。(おかしいな？と思ったら)

それはどんな場合？	調べるところ
・ 電源が入らない	① ブレーカーが落ちていないか確認してください ② コンセントが抜けていないか確認してください ③ マシン下部の主電源スイッチがOFFになっていませんか？
・ コーヒーの温度が低い	連続抽出した後や多量に給湯を取った後 連続抽出や給湯を多量に取ると、ボイラーの温度が下がります。 その場合、しばらく待って抽出を行ってください。
・ ミルクの量が減った。 ミルクの泡立ちが悪い。	① マシンのクリーニングを行なってください ② ミルカーの分解洗浄を行なってください。 ③ ミルカー用のパッキンを交換してください。 （差込みがゆるい場合） ④ ミルカージョイント部分をはめ直してください （かみ合わせが悪い場合が有ります。） ⑤ ミルカー用シリコンチューブを交換してください。 ⑥ ミルク保冷庫が冷えているか確認してください。
・ コーヒーを抽出する時： 1. 味がうすくなった 2. コーヒーの出方が悪い 3. ピストンパッキンが切れてしまった 4. 抽出湯量が減った。 5. コーヒーの泡立ちが悪い	① ピストンのパッキンを交換する。 ② 上ピストン底のフィルターを拭く ③ マシンのクリーニングを行ってください。 ④ ホッパー（豆の容器）の内部を清掃してください。 （コーヒー豆の脂が付着しますと、新鮮なコーヒー豆の劣化を早めます。内部に脂が付着しないようこまめに拭いて下さい。）
・ コーヒーがよく出てこない	上ピストン底のフィルターを拭いて下さい
・ マシン下より水漏れ	排水ホースが詰まってないか確認してください。 （牛乳などをトレイに流しますと、脂肪分が固まり、流れ難くなります。流さないようにしてください。

※ ここに書いている処置をしたのに改善しない、或いは、ここに書いている以外の状態が発生した場合は、サービスセンターへご連絡下さい。

保証とアフターサービス

1.保証書

●本書に添付しています。
●保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
●保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめいただき、コーヒーマシンが直らないときは電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3.アフターサービスについてご不明な場合

●アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保障期間内に万一故障をした場合には故障箇所の無料修理を行ないます。

2 保障期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。

3 次のような場合は、保証期間内でも有償修理になります。

- a 使用上の誤り、取扱説明書に記載してあるとおりの使用をしなかった場合。
- b 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠ったことが原因で発生した故障や損傷。
- c 使用する水質、水圧等が原因で発生した故障や損傷。
- d 販売店以外で修理、改造などを行なったことが原因で発生した故障と損傷。
- e 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。
- f 火災、水害、地震などの天災地変、塩害、公害、異常電圧、過電流など外部要因による故障及び損傷。
- g 落下、転倒、水濡れ、打撲や本体内部の基盤が破損変形したことなどによる故障及び損傷。
- h 車両などに搭載して使用したり、移動後に発生した故障及び損傷。
- i 保証書の提示が無い場合、および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
- j 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。
- k 遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する費用

4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＊この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって お客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合は当社にお問合せ下さい。

＊保証期間は、お買い上げの日より1年間もしくはマシンの累計抽出回数が40,000杯までのいずれかを過ぎた場合は無効となります。

＊お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

＊本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

製 品 保 証 書

形　　名	HARMONY V2 S 又は HARMONY LIGHT V2 S
製 品 番 号	11721 / 11727
製 造 番 号	
保 証 期 間	設置日より1ヵ年
お買い上げ日	年　　月　　日
お客様お名前	
ご　住　所	
電 話 番 号	

輸入代理店　**ブルーマチックジャパン株式会社**
横浜本社　神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4-5-13
大阪営業所　大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル1F

ブルーマチックジャパン株式会社

033111